

# 日本一、働きやすい県庁(しょくば)アンケート2012の概要

平成 25 年 4 月 19 日  
中央労使協働委員会

本アンケートは、県と県職員労働組合が「労使協働」の取組の一環として、職員の満足度や意欲・問題意識等に関する状況を把握し、今後の「日本一、働きやすい県庁(しょくば)」の取組を推進していくために実施するものです。

## 1 調査方法

### (1) 調査対象

職員 5,385 人（派遣職員等を除く）を対象に実施し、有効回答者 3,388 人、回答率 62.9%でした。

### (2) 調査期間

平成 25 (2013) 年 1 月 15 日～1 月 25 日

### (3) 調査内容

日本一、働きやすい県庁(しょくば)を実現するために必要と考えられる 5 つのテーマに分類し、集計しました。

- ① 安全・安心に関すること (設問 6 問)
- ② 時間に関すること (設問 6 問)
- ③ 男女共同に関すること (設問 4 問)
- ④ 職場の「支えあい」を実現するために (設問 5 問)
- ⑤ 意欲を持って働くために (設問 6 問)

計 27 問について、「そう思う」「やや思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」の 4 つの選択肢により、職員がどれだけ満足しているかについて調査を行いました。

また、日本一、働きやすい県庁(しょくば)を実現するうえで、特に重要な項目が何であるか(重要度)について、調査しました。

### (4) 算出方法

設問は 5 点満点で、全体の最高は 100 点となるようになっています。

## 2 調査結果の概要

### (1) 全体の特徴

① 全体の満足度は(61.97点)となりました。

(参考) 旧アンケートの全体満足度得点推移

H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
57.55	58.73	57.98	59.33	59.81	60.28	60.53	61.45	61.89	62.64	61.62

※ 設問数及び内容が現在のアンケートとは異なります。

② 設問の最高点は「問8 通勤時間」(3.82点)、最低点は「問12 自身のワーク・ライフ・バランス」(2.38点)でした。

なお、「8 通勤時間」「13 子育て介護への理解」「4 仕事上の相談相手」「7 休暇取得」「5 ハラスメント」の4項目については、3.50以上の高得点であり、一方で、「問12 自身のワーク・ライフ・バランス」「27 昇任」の2項目が2.50以下の得点にとどまっています。

③ 各項目の重要度について、特に重要であると考えられると回答された項目は次のとおりでした。

1位 過度の精神的不安を感じることなく仕事を進めることができる

1,903人(56.2%)

2位 仕事を進めていくうえで、相談できる人がいる

1,572人(46.4%)

3位 現在の仕事にやりがいを感じる

1,550人(45.7%)

4位 職場で、みんなが協力し合う雰囲気や良好な人間関係がある

1,523人(45.0%)

5位 仕事の配分や業務量が適正である

1,423人(42.0%)

### (2) 項目別の満足度の特徴

#### ① 所属

県立学校(63.32点)、他の地域機関(62.37点)、地域庁舎の事務所(62.03点)、本庁(61.60点)の順となりました。

#### ② 本庁・単独地域機関・地域庁舎

本庁では、病院事業庁(71.62点)、各種委員会等(71.00点)、出納局(70.33点)が高く、雇用経済部(50.23点)、健康福祉部(55.96点)、防災対策部(57.38点)が低い結果となりました。

単独地域機関では、防災対策部(72.02)が最も高く、教育委員会事務局(59.39)が最も低い結果となりました。

地域庁舎では、伊勢(志摩)庁舎および尾鷲庁舎(64.60点)が最も高く、桑名庁舎(56.67点)が最も低い結果となりました。

### ③ 役職

課長級以上（補佐級室長を含む）（69.21点）、一般（62.46点）、係長級（60.07点）、課長補佐級（59.92点）の順となりました。

### （3）自由記載意見

全体で504件の意見がありました。

- ① 最も多かったのは、勤務時間縮減に関するもので、99件あり、適切な人員配置、業務削減、事務改善等の対策・実施を求める内容でした。
- ② 次に多かった意見は、人事に関する意見で73件ありました。異動上の配慮や管理職の適切な登用などを求める内容でした。
- ③ 他に多かった意見は、給与・労働条件の向上に関するもので59件、管理職のマネジメントの問題で58件、職場環境（施設面、空調等）49件（9.7%）、職場環境（雰囲気）46件となりました。
- ④ パワハラを許さない意識醸成を今まで以上に進めるべきなど、ハラスメントに関する意見も約17件ありました。

### 3 今後の取組

アンケート結果（数値、自由記載意見等）を各部局へ提供し、各部局等労使協働委員会において、課題について検討するとともに、各部局における今年度の日本一、働きやすい県庁（しょくば）の取組に活用してもらいます。